

## 町会の主な活動

各町会では、住民同士のつながりの輪を広げ、地域を元気にするさまざまな取り組みが行われています。

### 安心・安全なまちづくり

防災訓練、自主防犯パトロール、子どもの登下校時の見守り活動など



### 生活環境の向上

資源回収、地域の美化活動、公園の花壇の管理など



### 情報提供など



広報『富士見』の配布や各種情報の回覧、募金活動への協力など

### 世代を超えた交流の創出

地域のお祭り、地区体育祭、敬老会、高齢者サロン、青少年健全育成活動など



このほかにも、母子保健推進員・スポーツ推進委員・民生委員などの地域で活動する各委員を町会から選出して、子育て支援や地域の安全など多岐にわたり、皆さんの生活を支える役割を担っています。

## INTERVIEW 「イベントの参加で地域と関わるきっかけに」

富士見市町会長連合会では、「市と地域住民のパイプ役」として、市からの依頼事項への協力や、住民の安心安全なまちづくりを推進するため、それぞれの地域実情を考慮しながらとりまとめた意見などを市へ提言しています。

当連合会は、各町会の町会長と副町会長で組織していますが、各町会では、定年延長、少子高齢化などの社会情勢の変化により、役員の確保や市からの委嘱委員選任依頼への対応などに苦慮しており、人材不足が大きな課題となっています。

今年1月に発生した能登半島地震による被災地の状況を報道で知ったときは、災害時における町会の役割、住民同士の絆の大切さをあらためて実感しました。

今後の町会運営にあたっては、イベント開催のポスターのデザインや掲示場所、回覧などの周知方法や、小学校・PTAとの共同開催の検討など、若い方々がイベントに参加しやすい環境を整え、さまざまな年代の住民がふれあう機会を作ることで、町会活動に協力してもらえるきっかけになればいいと思います。



富士見市町会長連合会  
会長 山本 昇一さん  
(鶴瀬西3丁目西町会 町会長)



## 町会からまちを元気に！ 市民が主役のまちづくり

町協働推進課 ☎049(252)7121

市では、市民の知恵と力を生かした豊かな自治の実現のために、市政への市民参加を進め、市民と市が相互の信頼関係を築きながら協働によるまちづくりを行っていくことを目的に自治基本条例を制定しています。市民との協働を進める上で一番身近なコミュニティは「町会」です。町会は地域の支え合い、助け合いの重要な基盤であり、市民と行政をつなぐパイプ役を担っています。市内には55の町会があり、それぞれが豊かな住みよいまちづくりを目指して活動しています。

地域社会の課題が多様化している中、町会では防災や高齢者・子どもの見守りなどの防犯対策、居場所づくりなど、地域住民が世代を問わず交流できる場をつくるため、さまざまなイベントを開催することで、顔の見える関係を築き、人と人との絆を育んでいます。

また、特に近年発生している大規模災害から命を守るためには、一人ひとりの防災意識や避難行動で自身自身の安全を守る「自助」とともに、

地域の人たちが協力して助け合う「共助」も重要です。日ごろから防災活動にも力を入れている町会は身近な「共助」を担う大切な存在です。そのほか、町会単体では解決が難しい地域課題には、町会を中心に、各種団体や企業などとともに地域まちづくり協議会を設立し、課題解決に取り組んでいます。

一方で、人口減少と少子高齢化が進む中、ライフスタイルの変化などにより、全国的にも地域のつながりが薄れてきているのが現状です。市内の町会加入率も年々減少傾向にあり、町会全体の加入率平均は約60%程度にとどまり、転出入で世帯の流動が多い地域などでは加入率が低迷しています。そうした中、担い手不足による町会役員の高齢化が進み、次世代の人材不足が大きな課題となっており、地域コミュニティの存続への対応が課題となっています。

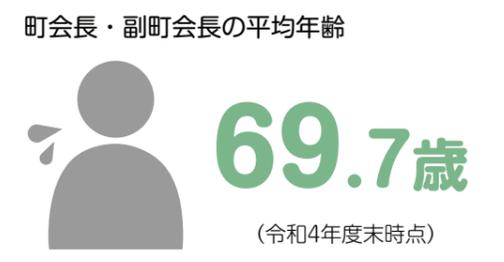
地域のあたたかさを次世代に引き継ぎ、自分の住むまちをよりよくするための一歩を、町会活動への参加から始めてみませんか。

## ！ 町会が抱える課題

### ①加入率の低下



### ②役員の高齢化



# 「富士見市に住んでよかった」 そう思ってもらえる町会へ

「できるときにできる人が  
できることを」

鶴瀬西2丁目南町会で活躍する、  
大矢町会長に伺いました

「町会活動に参加したきっかけは地区体育祭などに子どもも参加するように、町会の皆さんがイベントに参加するだけでも喜んでくれたことがうれしくて、おのずと手伝い始めたことがきっかけです。そこから班長を2年、副町会長を10年務め、昨年から町会長になりました。ほかの町会長はご年配の方が多いのですが、私が町会長に推薦されたとき、山本町会長連合会長が「サポートするよ！」と力強く背中を押してくれ、皆さんがあたたかく迎えてくださり、応援いただいています。会議などでは人生の先輩方を相手に忌憚なく意見を言わせてもらっています。皆さんが優しく耳を傾けてくれるからこそ、私も皆さんを信じて、まずは伝えることが大事だと考えています。

「鶴瀬西2丁目南町会の人気イベントは」

特に「スイカわり大会」が人気です。子どもから大人まで大きなスイカを割ろうと奮闘したり、その姿を微笑ましく見守る方がいたり、みんなが楽しめるイベントにしています。コロナ禍でも町会活動を途絶えさせないよう、くじ引き大会を屋外で実施しました。ごく短時間のイベントとし、景品も町会費を使わずに家に眠っている未使用品を持ち寄るなど、工夫して開催しました。

「忙しい中の活動で心がけていることは」

仕事や家庭、趣味のサークル活動もあり、町会活動を含め知り合う人や活動の場が増え、いろいろな自分でいられることが楽しく、視野が広がりが人生が豊かになりました。

「町会に加入すると大変そう」という声をよく伺いますが、私は町会活動以外の時間も大切に、「できるときにできる人ができることを」をモットーに、一人ひとりの負担を

軽くすることを心がけています。

例えば、イベントの担当分けは会議の出席者だけで決めるのではなく、アンケート形式にしています。時間帯などを区切って必要な人数を明記し、できる部分にだけチェックを入れてもらうようにすると、忙しくて会議には参加できない人でも、短時間一コマだけならと手伝ってくれます。無理のない範囲でできることを大切にしています。

防犯パトロールは日時だけを決めて当番制にはしていませんが、毎回7〜8人は来てくれます。曜日を固定しないことで、平日休みの方、土日休みの方、それぞれが都合の良いときに参加できます。私もお休みすることもあるので、「できないときはお互いさま」でサポートし合える環境づくりに取り組んでいます。

ほんの少しのことでも、協力してくれる人数が増えると、一人ひとりの負担も減って、より多くの方に気軽に携わってもらえるようになります。考えています。

「町会活動への想いは」

「ありがたい」と声をかけていただく機会が本当に増えました。子育てしながら活動できているのは、支えてくれている地域の皆さんのおかげだと感じています。転勤などで住民の入れ替わりもありますが、誰かが引越すときは寂しくなります。町会に未加入の方は長期間住む予定のない方が多いと感じていますが、「富士見市に住んでよかった」と思ってもらえる町会にすることで、将来また富士見市に帰ってきてくれたらいいなと思っています。

「加入を迷われている方へ」

私自身もイベントで町会を知り、「なんだか楽しそう」と興味を持ったのがきっかけです。町会に未加入の方も、まずはイベントに参加してもらえたらと思っています。また、町会ではいざというときに備えた活動も行っています。災害時の「共助」、その要となる町会では定期的な防災訓練を通して住民同士の顔が見え、安心をもたらす関係づくりに努めています。

もちろん町会加入は任意ですが、活動を通じ、魅力を感じてもらえたらとてもうれしいです。

## 町会イベントレポート

### 1/21 もちつき大会(水谷第2町会)

当日はあいにくの雨でしたが、つきたての餅とあたたかい豚汁が振る舞われ、イベントを楽しみに来られた皆さんでにぎわっていました。



### 2/4 スタンプラリー(鶴馬関沢町会)

寒い中でしたが皆さん足取り軽く、普段の住み慣れた町並みを楽しく巡り、小さなお子さんもかわいいスタンプを押してもらいに元気に歩いていました。



Q 町会に入らないとダメですか？

A 加入は任意です……が！

町会の加入は任意であり強制ではありません。しかし、町会活動は多くの場面で私たちの生活を支えてくれています。また、いざというときに身近で頼りになる存在でもあります。皆さんのできる範囲で、町会に携わってみませんか。

町会に加入しよう！

と思った方は

町会への加入は、お住まいの地域の町会役員にお申し込みください。詳しい加入先は市ホームページをご覧ください。協働推進課までご連絡ください。

☎ 協働推進課 ☎049-252-7121



鶴瀬西2丁目南町会  
町会長 大矢 奈苗 さん